

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.194

2019. 8. 1

会長あいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



令和元年6月1日付で「川崎市育成会手をむすぶ親の会」の会長となりました美和とよみと申します。微力ではございますが、会の発展のために最善を尽くそうと思っておりますので、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、当会は「障害があっても、安心して暮らせる共生社会の実現」をめざして活動しています。障害があるから仕方ないということではなく、入所施設・グループホーム・シェアハウス・一人暮らし・家族とともに、それぞれの望む場所で生き生きと暮らせることが大切です。それには多くの支援が必要です。先日の福祉大会でも、支援者を増やす施策をぜひとも考えていただきたいと行政の方々をお願いしました。障害特性を理解し、支えてくれる、そのような人が増えることを願っています。

会員の皆様「困った～!」「たすけて～!」と声に出しましょう。

SOSを出しても、期待した支援が受けられないこともあると思います。それを少しでも本人にとって必要な支援が届くよう、行政や相談支援員あるいは施設の職員の方々が知恵を出してくれると思います。また、そうでなくてはなりません。これこそ、先人の方々が築き上げてくれた成果なのです。その成果に深く感謝しながら、当会は、会員の皆さまのご意見を行政に要望していきます。

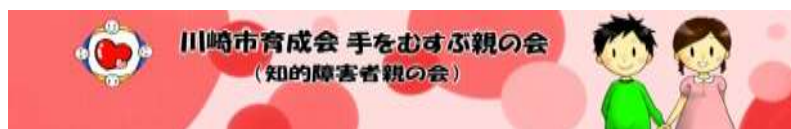
私たちは、声を上げていかなければなりません。まだまだ親の会の活動が必要です。「もう、親の会は必要ない」と言える日を目指して活動を進めてまいります。

また、広報紙193号寄稿文の中で、小島副会長(全育連)も、おっしゃっているように、楽しいところには人が集まると私も思います。笑い声が聞こえてくるような親の会にしていきましょう。ご協力よろしくお願いいたします。

むすびになります。退任される結城前会長、宮澤前副会長、山田前会計の皆様におかれましては、長年にわたり当会を支えてくださいましたことに感謝申し上げます。これからもお導きくださいますようよろしくお願いいたします。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



川崎市育成会手をむすぶ親の会第7回総会 令和元年度(平成31年度)定時総会



5月30日(木)地域福祉施設「ちどり」1階に於いて開催しました。各支部から選出された代議員と役員からなる構成員32名のうち出席者32名(書面評決者3名含む)で、総会が成立することが確認されました。また、各支部長、各委員会委員長もオブザーバーとして参加し見守りました。

議長に、宮澤明副会長が選出され、議事について審議を行いました。

《議事》

第1号議案 会則の改正(案)

①役員を選任について ②支部について ③運営委員会構成員について

第2号議案 平成30年度事業活動報告(案)

第3号議案 平成30年度決算報告(案)・会計監査報告

第4号議案 次期役員を選出(案)

・会長 美和とよみ ・副会長 吉野明美 ・会計 梅田順子 ・書記 加藤敦子
 ・会計補佐 三浦ひろみ ・会計監査 相川隆俊 ・会計監査 浅川修一 ・相談役 結城真知子

第5号議案 平成31年度(令和元年度)事業活動計画(案)

第6号議案 平成31年度(令和元年度)予算(案)

*議案は、賛成多数で全て可決承認されました。詳細は支部代議員にお尋ねください。
 最後に、関東甲信越ブロック大会・川崎大会の決算報告がありました。(吉野 明美)

令和元年度要望事項(令和2年度予算要望)川崎市に提出

1. 特別支援学校卒業生在宅ゼロ施策の継続並びに通所施設などになじみず在宅で引きこもりがちな人に対する支援の強化
2. 障害者の高齢化と家族の高齢化に向けた取り組み
 - (1) 24時間切れ目なく安心して暮らせるよう、終の棲家としてのグループホームの充実
 - (2) 65歳以上の障害者相談窓口として地域包括支援センターの機能拡充
 - (3) 介護保険事業所が共生型サービス事業所となる時は障害者介護を十分理解すること
3. 地域で安心して暮らすことのできるバックアップ機能の充実
 - (1) 短期入所施設(ショートステイ)の拡充、ミドルステイの創設
 - (2) 特別割引用交通系ICカード導入のための積極的な働きかけ
 - (3) 通所先の利用時間が長く使える制度作り、さらには特別支援学校卒業後も夕方支援が受けられる受け皿の整備
 - (4) 安定して継続的な支援が受けられる施設職員体制と事業所の安定運営の整備
 - (5) セルフプランによらないサービス等利用計画の作成 他
4. 障害者の所得保障 年金の保証・工賃が増える施策と企業への障害者理解の啓発と合理的配慮の徹底、就労支援制度の拡充
5. 法人成年後見制度の推進
6. 災害時の支援 災害時に必ず見守れる体制作りと一次避難所と二次避難所の在り方
7. その他
 - (1) 南部地域にグループホーム新設、特に重度障害者のグループホーム新設
 - (2) 親が安心して入院できるようミドルステイの創設
 - (3) 医療的ケアが必要な重度知的障害者にも市立病院の短期入所が利用できるように
 - (4) 幸区、多摩区、麻生区に地域生活支援拠点施設の早期建設

退任のあいさつ

前会長 結城 眞知子



この度、任期満了に伴い、川崎市育成会手をむすぶ親の会の会長を退かせていただきました。私の力量不足にもかかわらず、皆様の温かいお力添えをもちまして、何とか務めさせていただくことができました。ここに厚くお礼を申し上げます。

会長在任中に「第52回手をつなぐ育成会関東甲信越大会 川崎大会」を開催できましたことは、忙しく大変ではありましたが充実した日々でした。また、同じ目標に向かって、力を合わせる機会に恵まれたのは、とても貴重な経験でした。改めまして、協力してくださった皆様に深く感謝申し上げます。

現在は忙しかった役員の時とはまた違う、穏やかな充実感があります。

これからも「共生社会の実現」に向けて様々な活動を通して邁進してください。

川崎市育成会手をむすぶ親の会ならびに新会長の美和さんをはじめとする関係者の皆様の一層のご活躍とご発展を心からお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

.....

前副会長 宮澤 明

私は、退職後、妻の代理で、ある会合に出席したことから、障害者活動にかかわり、地福協・育成会で多くのことを学ばせていただきました。思い起こせば、子どもが保育園の時、原因不明の病気で医療機関を訪ね歩いたのですが、人づてに難病であることがわかりました。当時は、ドクターでもその病気を知らない人がいる時代でしたが、患者の会にたどり着くことができ、当事者団体の存在がいかに大切で、必要とされているのかを実感しました。育成会も全国組織の親の会です。社会的にも、家族にも必要とされ、心のよりどころとなっていると思います。

障害者の歴史においては、差別や人権無視などもありますが、差別解消法の成立でやっと合理的配慮といった環境づくりの端緒についてではないでしょうか。

また、グループホームの世話人を定年まで務めました。兄弟ではなく、親子でもない、そして家族でもないという矛盾した関係に考えさせられた日々でした。現在、8050問題が取り上げられていますが、共生社会に向かうためにも、国政や地方政治にも関心を持って、情報を共有し、励まし合っていかなければならないと思います。

皆様、長い間お世話になりました。今後とも育成会の発展を祈念します。

最後に、時にはお父さんたちとも交流の機会を持ちたいですね。



.....

ガンバ！川崎市育成会！！

前会計 山田 勝子

今年度の総会をもって退任をいたしました。振り返りますと、昭和の終わりに地福協の評議員となり、現在の（社福）ともかわさきの設立や短期入所事業所「ライブリー」の準備委員会に携わらせていただきました。息子が養護学校の時代の頃です。その後、一期の予定でお引き受けをし、今日に至ります。各所への要望活動や相談員・福祉有償運送・関東ブロック大会・大都市問題・民生委員児童委員との懇談会など・研修会などで多くのことを学びました。中でも、余暇活動において海水訓練と緑陰訓練や宿泊レクなどに20年以上に渡って親子で参加させていただいたことも、楽しい思い出です。皆様にご協力いただき続けられたことに感謝しております。会の益々の発展をお祈りいたします。



皆様、長い間 ありがとうございます。

令和元年度（平成31年度）川崎市育成会手をむすぶ親の会 役員紹介



前列左から	副会長	吉野 明美
	会長	美和 とよみ
	会計	梅田 順子
後列左から	書記	加藤 敦子
	相談役	結城 眞知子
	会計補佐	三浦 ひろみ

どうぞ、よろしくお願いたします。

令和元年度（平成31年度）川崎市育成会手をむすぶ親の会 支部代表者の紹介

支部名	氏名	住所	電話番号
川崎支部	加藤 敦子	川崎区藤崎	211-4724
幸 支部	角田 三津子	幸区下平間	522-3128
中原支部	西澤 知子	中原区市ノ坪	433-0662
高津支部	太田 理佐	高津区新作	877-2134
宮前支部	小澤 千枝	宮前区土橋	090-9233-1627
多摩支部	神田 明子	多摩区登戸	080-3213-9052
麻生支部	黒瀨 晶子	麻生区片平	986-9869
田島支援学校支部	佐藤 梨乃	川崎市藤崎	245-8541
中央支援学校支部	鈴木 佳子	多摩区宿河原	911-7582

令和元年度（平成31年度）川崎市育成会手をむすぶ親の会 委員紹介

	余暇活動 委員会	研修事業推進 委員会	広報 委員会	権利擁護 委員会
川崎支部	○近藤・安達 山本	加藤・齋藤 松本	安達・小西	阿部・山之端
幸 支部	◎角田	三浦 (ひ)	○高山・仁尾	◎仁尾
中原支部	福田	菅井		西澤
高津支部		◎太田	◎三浦 (ル)	○森・三浦 (ル)
宮前支部	岩見		小澤	門間
多摩支部	○添田	○神田	神田	○中村
麻生支部	小林	磯・小林 (黒瀨)		熊谷
田島支援学校支部			島田	

◎は委員長、○は副委員長

* 運営委員会は役員、支部代表、各委員会委員長で開催します。

令和元年 川崎市心身障害児者福祉大会

6月22日(土)13時より川崎市総合自治会館にて、川崎市心身障害児者福祉大会がされました。“障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に”をスローガンに、第1部は式典、第2部は野澤和弘氏をお招きして講演会が行われました。



大会宣言

本大会スローガンである “ 障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に” を実現するため、ここに集う方々とともに考え、より一層の努力をしていくことを誓い、次の事項をここに決議する

1. 住み慣れた地域で、安心・安全に暮らし続ける

川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに「誰もが住み慣れた地域や自ら望む場で安心して暮らし続ける」と書かれています。

障害のある人にはライフステージに応じた、さまざまな支援が必要です。支援者やヘルパー不足は今後ますます深刻になります。障害特性を理解し支援できる人材育成策が着実に実施され、住み慣れた地域で、安心・安全に暮らせることを望みます。

また、高齢者・障害者など個々の支援ではなく、家族を一つとした支援体制の構築を望みます。

誰もがSOSを出せるような、地域でのみまもり体制の充実、相談支援の充実を強く望みます。

2. 地域の一員として共に暮らしてあたりまえとなるよう啓発を進める

ともに生きる社会の実現をめざして制定された「ともに生きる社会 かながわ憲章」に、偏見や差別の排除が謳われています。

監視ではなく、優しい見守りが大切です。障害があってもなくても、ともに認め合い、助け合う地域社会を目指し、障害理解と個の尊重の啓発を進めてください。親の会も、ともに啓発を進めてまいります。

(仮称)「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」制定にあたって、障害のある人を置き去りにしないでください。人権尊重のまちづくり、共に生きる社会の実現を目指して、ともに考えていくことを強く望みます。

令和元年6月22日

令和元年川崎市心身障害児者福祉大会実行委員会

市長祝辞

川崎市長 福田 紀彦

皆さんこんにちは。ご紹介いただきました、福田でございます。

来賓の方々、日頃から川崎市の障害者の福祉に大変なご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げたいと思います。

そして、三つの親の会の皆様方に、長年にわたって障害者の障害特性の理解や、あるいは障害者の社会参加の啓蒙に、ご尽力いただきましたことに、心からの敬意と感謝を申し上げたいと思います。

今、会長さんからお話がありましたように、助けて欲しいと声をあげることは、とても大事なことだと思います。そして、それを受け入

れ、受け止められる行政、地域社会があるかが、誰にとっても住みやすい街になることだと思います。最近、「川崎は人口が伸びていて、すごく住みやすくなってきたね。」と、言われます。良い街だということですが、本当の意味での暮らしやすさ、ずっと住み続けられるかというのは、地域包括ケアシステムをはじめとした地域社会の仕組みが、気持ちが、皆そうになっているか、ということにかかっていると思います。それがちゃんとできた時に、初めて私たちの街は本当に良い街になったと言えるのだと思いますが、まだまだ道半ばです。そういった意味で、三団体の皆さんをはじめ、関わっている皆が、知恵を出し合い、いろいろな力を重ね合わせて、その取り組みをしていかななくては、と心から思います。

先週、私は川崎市内のある小学校に視察に行きました。最近外国人の小学生や子ども達が非常に増えていて、言葉の壁があるということで、日本語教育がどうなっているかという取り組みを見に行きました。クラスで、違う別室で日本語を勉強することと、クラスの中でサポートして学ぶという機会、両方見ました。一つのクラスに、何人かの外国人がいて、それを先生あるいはボランティアがサポートする。同時に、軽度の知的障害のお子さんがあると、また違う方がサポートしている。教室の中で、3人から4人の大人（先生）がサポートしています。いろいろなサポートが必要とされている所に、いろいろな人が関わっている。そのことを、子ども達はごく普通に捉えていました。後で、校長先生にその話を聞きましたら、「これは、仕組みというものがとても大事で、その仕組みを子ども達がどう受け止めるか、その環境というものをどう理解するか、の方が実はとても大事です。うちの学校には、不登校もそしていじめもありません。」という話がありました。「みんな違って良くて、それは当然だよな。」という感覚がこの学校ではすごくできていました。ですから、何らかの障害がある、あるいは、言語的にバリアがある。こういった違いがたくさんあること、それが当たり前だという環境がここではできている。だから、差別的な意識もないし、偏見もないからいじめもおきない、行きやすいから不登校もおきない、とのことでした。これは、学校の一つのクラスの事例ですが、世の中全体がそういう全ての違いを受け止められるようには、まだまだなっていないと思っています。

今回、市議会に「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」素案というものを、出させていただくことになっています。最近はとかく「ヘイトスピーチ」のことが非常に取上げられますが、今回の条例は「ヘイトスピーチ」だけのものではありません。すべての人権について捉えています。川崎市で、不当な差別などが起こらないように、ということを確認にして、市民の総意で作っていきましょうということです。ですから、障害者も含まれる全てのことです。そういった街づくりをしていきたいな、と思っていますので、どうか皆さん、お力添えを、またお気持ちを寄せていただければ、と思っております。

繰り返しになりますが、三団体の皆様の活動に心から敬意を表し、今日お集りの皆さんでさらに高みを目指して頑張っていこうということに、私どもも、その責任を果たして参りたいと思っています。今日は本当におめでとうございませぬ。

福祉大会第2部・講演会

テーマ：「地域における障害福祉の現状と課題」～親の想いと子の気持ち～

講師：野澤 和弘 氏（毎日新聞 論説委員 社会保障担当）



今大会では、毎日新聞論説委員の野澤和弘氏をお招きして、講演会を開催しました。自閉症のお子様をお持ちの野澤さんは、いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待など、たくさんの社会問題に取り組みられています。その中から今回は、この15年で国内の様々な法律が改定され、障害者支援の内容も予算も充実してきていることや、福祉施設での事例、ご自身の息子さんとの体験談など、障害者の思いや支援について話してくださいました。

中でも印象に残っているのは、強度行動障害のある人の気持ちに寄り添い、身体拘束しない方法を模索して音楽療法にたどり着き行動障害が改善された話です。スタッフの方々の自傷行為の原因を突き詰めていく姿勢には、敬服させられました。

また、優秀な東大生の中から障害者施設に就職した方がいる話をされ、日本の学生も捨てたものではないとも語られました。その方は、学歴社会の頂点である東大合格を手にしたことでその先の目標が見えなくなったそうですが、野澤さんを通じて知り合ったALSの患者さんとの出会いを機に福祉の仕事に魅力を感じ、内定の就職先を全て断り障害者施設に就職したそうです。

この話は、親亡き後、子どもを家族以外の誰かに支えてもらわなければならない立場の私には一筋の光に思えました。日本の将来において障害者自身の幸福を追求する支援を望むとき、たくさんの若い力に助けをもらうことになるでしょう。いつか、先述の方のように、障害者支援に関わることが東大生の目指す道となるとよいなと思います。様々な視点から、息子の将来にうれしい希望を見出せた講演会となりました。（小西 真弓）

『おしゃべり塾』～「障害基礎年金」について～

権利擁護委員会委員長 仁尾 智都子

6月13日（木）地域福祉施設「ちどり」において、『おしゃべり塾』を開催しました。参加者は21名でした。今回は、「障害基礎年金」の申請について3人の方から実際の手続きについて伺いました。申請の相談は20歳の誕生日の3ヶ月まえから各区の年金課でできるそうですが、20歳の誕生日を過ぎてからでも申請できるので諦めないでくださいとのことでした。また、申請には、「病歴・就労状況等申立書」の提出が必要ですが、その記載の仕方や必要となる書類についての説明があるので、最初に年金課に相談に行くときは、時間に余裕があるときにした方がよいそうです。それから、後日、申請時の内容を確認する必要があることがあるので、申請書や診断書はコピーをとっておいた方がよいとの情報も提供されました。

現在、権利擁護委員会では、「あんしんノート」を記入しやすくするための改訂を進めています。また、知的障害のある人への理解と支援を広げるために、「かわさきキャラバン隊」も立ち上げました。（詳細は、メンバー募集のチラシをご覧ください。）

次回の『おしゃべり塾』の開催は未定ですが、これらの活動と連携しながら進めていきますので、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

※「障害基礎年金」の申請手続きについて、詳しいことをお知りになりたい方は、お近くの日本年金機構か各区の年金課にお尋ねください。



支 部 通 信

おしゃべり多摩

多摩支部 神田 明子



5月27日(月)福祉パル多摩研修室にて行いました。社交ダンスの先生や座間の育成会の方も来てくださってとても楽しく語り合いました。

子どもにいろいろな体験をさせてみたいと常日頃思っていましたので、社交ダンスの情報は興味をそそられました。

親子の高齢化に伴って私たちが受けられる福祉サービスは何があるのかという情報交換や他市のサービスなどをおしゃべりしました。

「おしゃべり多摩ここだけの話」という感じの話題もありとても得した気持ちになりました。次回は7月18日(木)10時30分より福祉パル多摩で行います。参加者を限定していませんので皆さまどうぞいらしてください。

第19回多摩ふれあいまつり

多摩支部 神田 明子

6月16日(日)多摩区総合庁舎にて行われた第19回多摩ふれあいまつりに参加しました。障がいのある方やボランティアの団体・グループの活動紹介、展示品の販売があり、ワークショップやゲームなどいろいろな企画にも参加できます。

多摩支部は活動紹介とパネル展示を行っています。各会場で行われているスタンプラリーやボッチャ体験、つりゲームなどに参加し、時に本気で対戦しました。息子は大ホールのコンサートで一緒に歌ったり手拍子をしたり大いに楽しんでいました。

前日は大雨で心配したのですが、当日は快晴に恵まれ、とてもいいお祭りでした。



高津わいわい茶話会

高津支部 三浦 ルイ子

6月6日(木)高津わいわい茶話会を福祉パルたかつで行い、14名の出席がありました。

はじめに、薬剤師の方をお招きして、「意外と知らない!?くすりのこと、薬局のこと」をテーマにお話を聞きました。気軽に相談できる場所として、地域の薬局・薬剤師さんともつながりを持ちたいと思いました。



また、出席された美和会長からは、6月22日(土)に行われた「川崎市心身障害児者福祉大会」への参加の呼びかけと全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関誌「手をつなぐ」の紹介と購読のお願いをしていただきました。

久しぶりの茶話会におしゃべりも弾み、予定の時間を超えましたが皆さまと楽しい時間を過ごすことができました。



川崎支部日帰りバス旅行（山梨のさくらんぼ狩りと FUJI フルーツパーク）

川崎支部 阿部 多賀子

6月15日（土）山梨のさくらんぼ狩りと FUJI フルーツパークへ行ってきました。参加人数は44名で、初めて申し込んだ方も数組いらっしゃいました。あいにくの雨でしたが、ハウス内は広く、車イスの方の移動もスムーズでした。



赤く大きく十分に熟したさくらんぼを、次々摘んでは食べ、種はその場に捨てて良いということでしたので、皆さん、お行儀を気にせず楽しみました。

FUJI フルーツパークでの昼食は、せいろ蒸し4段のお料理。大変美味しく、贅沢な1日となりました。



令和元年度支援学校支部・今後の行事予定

【田島支援学校】

- 1 1 / 2 (土) 学習発表会 (小中学部)
- 1 6 (土) " (高等部)
- 2 / 1 3 (木) 作品展・製品販売
- 3 / 6 (金) 高等部卒業式
- 1 3 (金) 小中学部卒業
- 2 5 (水) 修了式

【中央支援学校】

- 9 / 2 8 (土) 第8回きらめき祭
- 1 1 / 1 6 (土) 中央支援まつり
- 1 / 2 4 (金) 第8回さくら祭
- 2 5 (土) "
- 3 / 6 (金) 高等部卒業式
- 1 3 (金) 小中学部卒業式
- 2 5 (水) 修了式



研修会のお知らせ

川崎市の取り組み「知的障害者ができることを見つける、支援する」

日時：令和元年10月21日(月) 10:15～12:00

場所：てくのかわさき 2階 てくのホール

講師：川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害者雇用・就労推進課

担当係長 平井 恭順 氏

社会福祉法人 青い鳥 横浜東部就労支援センター

林 裕美 氏

ふれあいバザールみぞのくち（ふれあい製品展示即売会）開催のお知らせ

日時 令和元年11月14日(木) 10時～18時

場所 JR南武線 武蔵溝ノ口駅改札外 南北自由通路



やまゆりとの共催研修会のお知らせ

「合理的配慮」とは？ ～さまざまな場面での具体例から考える～

日時：令和元年11月20日(水) 10:10～12:00

場所：てくのかわさきホール 2F

講師：白梅学園大学こども学部発達臨床学科 教授 堀江 まゆみ 氏

第45回 かわしん ふれあい市場

5月17日(金)川崎信用金庫本店にて、ふれあい市場が開催されました。手作り小物やお菓子、パンなど様々な商品が売られていました。障害者のある人が作成し工夫を凝らした商品を見て、どの位の時間と手間がかかっているのかと思うと値段以上の価値を感じました。

機織りをした生地を作成し、バッグや小物などの製品にし、販売している作業所では、機織り機を展示していて機織り体験をさせてくれました。糸の質や色、織り方の強弱で風合いが変わり個性が出るものだと感心しました。

令和初のふれあい市場は天候にも恵まれたたくさんの方に足を運んで頂きました。皆様、次回は是非いらしてください。(小西 真弓)



緑陰訓練のお知らせ



実施日：令和元年9月28日(土)

行先：茨城県 筑波宇宙センターとめんたいパーク大洗&ぶどう狩り
詳しくは、すでに配布されているチラシをご覧ください。

第46回 かわしん ふれあい市場開催のおしらせ

開催日 令和元年10月18日(金) 10時 ~ 15時

場所 川崎信用金庫本店1階 ロビー及びふれあい広場

ふれあい製品の展示・販売を行います。皆さま、是非おでかけください。



令和元年度 年末たすけあい運動

『慰問金(見舞金・支援金)』の申請について

毎年、地域の社会福祉協議会では「年末たすけあい運動」で寄せられた募金を、申請のあった対象世帯に配布しています。川崎区『支援金』、幸区『慰問金』、中原区『見舞金』、高津区『見舞金』、宮前区『見舞金』、多摩区『慰問金』、麻生区『慰問金』という名称で届けられています。ご本人が在宅で生活されていて、療育手帳A、身体障害者手帳1・2級の方などが対象(入所やグループホーム、長期入院の方は対象外)で、10月末ごろに申請期限を設定している区が多いようです。

また、私たちにとってとても重要なことは、この配分金を各世帯に届けてくれるのが、その地区担当の民生委員さんということです。手続きが大変とか、そのくらいなら別に…、と思われる方もいらっしゃると思いますが、日頃、接触の少ない民生委員の方と知的障害者世帯が、「ここにいます」とお互いに認識し合うことは地域で生きていくための大切な機会だと思います。申請時期、配分金額、対象資格、名称など、それぞれの区社会福祉協議会で違いがあります。詳しいことは、早目にご自分の区社協に問い合わせしてみてください。



賛助会費(敬称略・順不同)

結城 眞知子	川崎区藤崎	20,000円	吉田 美智子	中原区荻宿	5,000円
池田 信哉	中原区西加瀬	5,000円	吉野 謙二	中原区市ノ坪	5,000円
三浦 恭伸	幸区南加瀬	5,000円	市田 榮重	多摩区菅城下	5,000円

※1,000円以上の方を記載しています。

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告
 《平成31年4月22日～令和元年7月17日まで》

<各種会議、行事>

4月22日(月)	第1回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
23日(火)	第1回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
24日(水)	第1回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
5月7日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
10日(金)	第2回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
13日(月)	第1回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
22日(水)	第2回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
30日(木)	第7回定時総会	地域福祉施設「ちどり」
6月4日(火)	第2回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
12日(水)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
18日(火)	第3回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
22日(土)	令和元年心身障害児者福祉大会	総合自治会館
28日(金)	第3回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
7月3日(水)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
10日(水)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
16日(火)	みらいとの意見交換会	市役所第2庁舎
17日(水)	第4回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

5月15日(水)	あやめ会総会	川崎市総合福祉センター
17日(金)	かわしんふれあい市場	川崎信用金庫本店
20日(月)	第1回障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
20日(月)	やまゆり知的障害児者生活サポート協会研修委員会	県民サポートセンター
22日(水)	関東甲信越ブロック代表者会議	浦和コミュニティーセンター
28日(火)	県障害児者団体連絡協議会運営委員会	県社会福祉会館
28日(火)	やまゆり知的障害児者生活サポート協会理事会	県民サポートセンター
6月3日(月)	やまゆり知的障害児者生活サポート協会総会	県民サポートセンター
20日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
21日(金)	育桜福祉会評議委員会	育桜福祉会事務局
25日(火)	全国手をつなぐ育成会連合会2019年度定時総会	プラザ八重洲北口
27日(木)	川崎市社会福祉協議会評議委員会	川崎総合福祉センター
7月7日(日)	川崎市身体障害者福祉大会	多摩市民館

2019年度版

生活サポート総合補償制度

知的障害児者・自閉症児者のための

普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

被保険者 <small>(補償の対象者)</small> 知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。	補償期間 (保険のご契約期間) 2019年4月1日から 1年間	掛金 入院2日目から補償プランB 掛金… 23,000円 (保険料19,810円) 入院4日目から補償プランA 掛金… 17,000円 (保険料14,810円)
---	--	--

詳細は担当代理店・返者または引受保険会社にお問い合わせください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

ご加入のお問合せはこちら

担当代理店・返者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
 新宿三井ビル2号館2F
 TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
 受付時間: 午前9時～午後5時
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
 東京第二プロチャネル営業部
 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新館NSビル14階
 TEL: 03-6894-9110
 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2
 神奈川県社会福祉会館内
 TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2018年11月現在の内容です。(D-003489 2019.11)

※令和1年7月1日現在ご加入者は9,230余名です。毎月1日付で加入できます。今年度もご加入よろしくお願ひします。

私たちの広場(スポーツの会)

令和元年6月30日(日)川崎市立中央支援学校の体育館でスポーツ大会を行いました。

今年の種目はボッチャとバドミントンです。ボッチャをやった事ある人が半分以上いる中、3人ずつの4チームに分かれてトーナメント形式で行いました。玉を投げる回数が増すのにしたがって、皆さんコツをつかんで、的の白いボールの周りに、

投げた青・赤のボールが何個も囲む場面が増えてきました。投げる前に「フー」と一呼吸置き、集中してボールを投げる真剣な眼差しが印象的でした。決勝戦の後、調子が上がって来たので、対戦した事のないチーム同士で再試合をしました。



「ボッチャは難しかったけど、楽しかった。」との感想が聞かれました。一旦休憩し、バドミントンをしました。最初はシャトルを自分で何回も上に打ち、感覚を掴んでから、近くにいる人とラリーをしていました。皆さん額に汗しながらシャトルを追いかけていて、身体も心もリフレッシュしたいいい一日になったと思います。(事務局)



今後の予定

8月25日(日) 第4回実行委員会	1月12日(日) 第7回実行委員会
9月 8日(日) 日帰り研修会	2月 9日(日) 料理教室/てくのかわさき調理実習室(使用予定)
10月13日(日) 第5回実行委員会	
11月10日(日) 講演会(勉強会)	3月 8日(日) 第8回実行委員会
12月 8日(日) 第6回実行委員会/忘年会	

問い合わせ、申し込みは、ともかわさき事務局分室 電話 044-812-2966 まで

編集後記

6月より、当会は新体制でスタートしました。広報委員会にもフレッシュなメンバーが加わりました。これからも、広報紙・ホームページ・Facebookなどを通して、読みやすく、解りやすく、知りたい情報などを発信していきたいと思ひます。(三浦 ルイ子)

【もくじ】

- P. 1 美和新会長あいさつ
- P. 2 第7回総会報告/令和元年度要望事項(令和2年度予算要望)
- P. 3 退任あいさつ
- P. 4 役員紹介/支部代表者の紹介/委員の紹介
- P. 5 福祉大会大会宣言
- P. 6 福祉大会市長祝辞
- P. 7 福祉大会第2部/おしゃべり塾
- P. 8 支部通信
- P. 9 支部通信/研修会のお知らせ/ふれあいみぞのくちバザール/やまゆり研修会のお知らせ
- P. 10 第45回かわしんふれあい市場・次回おしらせ/年末慰問金申請/賛助会費/緑陰訓練のおしらせ
- P. 11 活動報告/やまゆり広告
- P. 12 編集後記/もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
 TEL: 044-812-2966 FAX: 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>